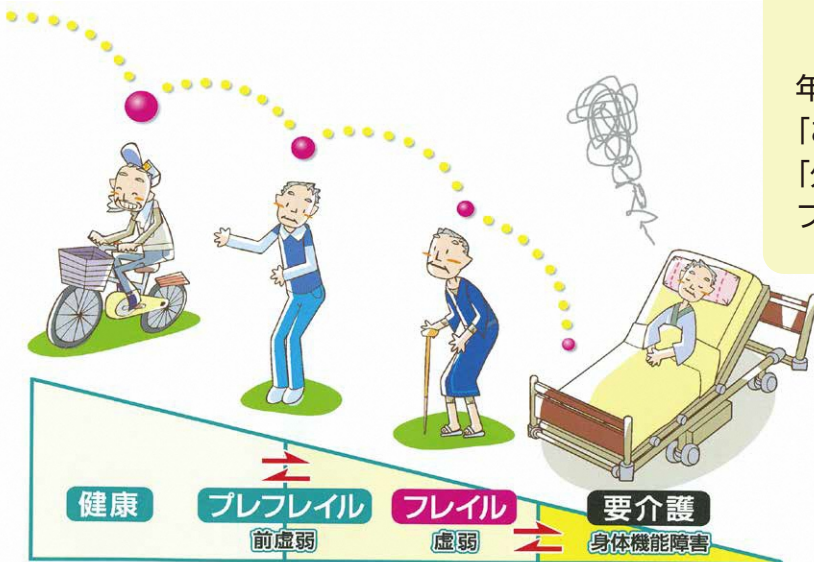


おいしく食べて、元気に動ける人生を!

いつまでも元気に笑顔で 過ごすためのフレイル予防



フレイルって何だろう

年をとって心身の活力が低下した状態をいいます。
「おいしいものが食べられなくなった」
「外出の機会が以前よりも減った」という人は
フレイルの危険信号が灯っていると考えられます。

フレイルの兆候を早期に発見して
日常生活を見直すなどの正しい対処を
すれば、フレイルの進行を抑制したり、
健康な状態に戻したりすることができます。



まずは 自分の状態を知ることが大切。やってみよう! フレイル測定



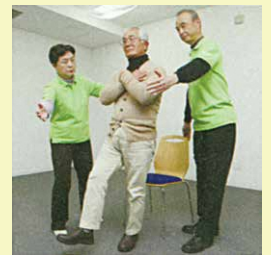
みなさん楽しく参加されています



筋肉量の測定



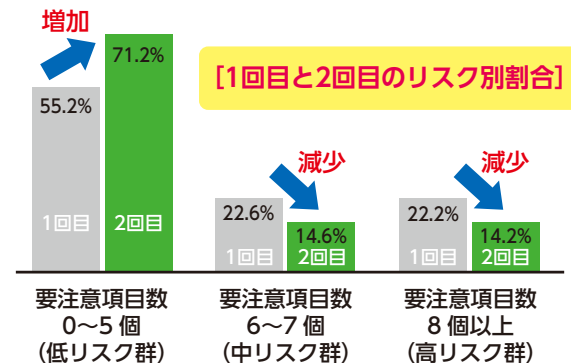
滑舌の測定



片足立ちテスト

- フレイル測定をしてちょっとした衰えに気づくことが大切です。
- 定期的に(1年に1回程度)フレイル測定することをおすすめします。*

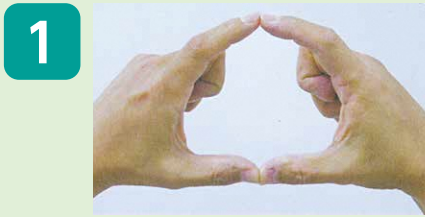
*フレイル測定を定期的に受けている人は、1回しか受けていない人と比較した場合、状態が改善したという報告があります。(右グラフ参照)



(出典: 田中友規 Geriatric Medicine2022)

1 『指輪っかテスト』で自己チェックをしてみましょう

まずは自分の筋肉量を測ってみましょう。計測器は使わずに自分の指を使う簡易型のチェックです。

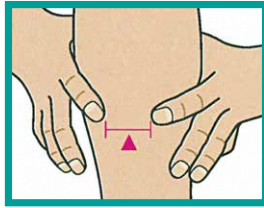


1 両手の親指と人差し指で輪を作ります。

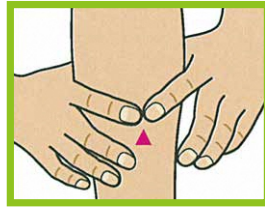


2 利き足ではない方のふくらはぎの一番太い部分を力を入れずに軽く囲ってみましょう。

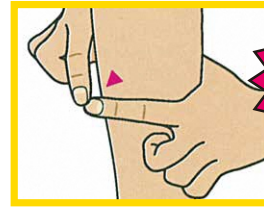
サルコペニア*の危険度の高まりとともに、様々なリスクが高まっていくことがわかってきています。



囲めない



ちょうど囲める



隙間ができる

転倒・骨折などのリスク

低い

サルコペニア*の危険度
* (加齢に伴い、筋肉が減少した状態)

高い

「指輪っかテスト」は、東京大学高齢社会総合研究機構が実施した柏スタディをもとに考案されました。

2 『イレブン・チェック』をしてみましょう

<p>栄養 食・口腔</p>	Q1 ほぼ同じ年齢の同性と比較して健康に気をつけた食事を心がけていますか	はい	いいえ
	Q2 野菜料理と主菜(お肉またはお魚)を両方とも毎日2回以上は食べていますか	はい	いいえ
	Q3 「さきいか」「たくあん」くらいの固さの食品を普通に噛みきれますか	はい	いいえ
	Q4 お茶や汁物でむせることがありますか ※	いいえ	はい
<p>運動</p>	Q5 1回30分以上の汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか	はい	いいえ
	Q6 日常生活において歩行または同等の身体運動を1日1時間以上実施していますか	はい	いいえ
	Q7 ほぼ同じ年齢の同性と比較して歩く速度が速いと思いますか	はい	いいえ
<p>社会参加</p>	Q8 昨年と比べて外出の回数が減っていますか ※	いいえ	はい
	Q9 1日1回以上は、誰かと一緒に食事をしますか	はい	いいえ
	Q10 自分が活気に溢れていると思いますか	はい	いいえ
	Q11 何よりもまず、物忘れが気になりますか ※	いいえ	はい

※ Q4・Q8・Q11は「はい」と「いいえ」が逆になっていますので注意してください

※ 回答欄の右側に○が付いた時は要注意です

地域の会館等で「フレイル測定会」を開催することができます(参加者15~20名)。*
質問紙や測定機器を用いて、滑舌・筋肉量・握力などを詳しく測定することができます。
フレイル予防のポイントもご紹介します。

*会場等の条件があります。詳しくは下記問合せ先までご連絡ください。

フレイル測定に関する申込み・問合せ

018(883)1178

秋田市保健所保健予防課